



今年度は附属小の
「創立150周年」です。
ワクワクでいっぱい年にしていきます！

令和6年度 附属小学校だより

スマイルふぞく⁴



第11号 令和7年3月24日（月） 校長 古野 祐一

卒業式・修了式が終わりました。

1年間の御協力、ありがとうございました！

3月13日（木）の卒業式は、全児童を代表して5年生が出席し、真剣な姿で6年生を見送りました。卒業証書を受け取る卒業生一人一人の立ち居振る舞いは、附属小の伝統を受け継いだ立派な姿でした。中学校へと向かう卒業生に伝えたのは、次のような「感謝と期待」です。

- 「スマイル附属」を一緒に創ってくれたことへの感謝です。
北斗の子のリーダーとなった今年度、皆さんは、「**自分たちの学校は自分たちで創る**」ために、自分で考え、自分から行動してきました。スマイルチーム活動によって、「自分がやってみたい」ことを入り口にして、「下級生の笑顔のために」、「スマイル附属をもっとよくするために」と、**誰かの幸せのために行動するという、附属小学校の文化を築いてくれました。**
- 「期待すること」は、附属小の先生たちと一緒にいつも心掛けてきた、「**人を大切に**する言葉」です。
人を大切に使う言葉を使う人には、
 - ・自然と人が集まります。
 - ・「あなたがいてくれて、よかった」と慕われます。
 - ・そして、自分の大切な人を励まし守ることができます。
 人を大切に使う言葉の葉を増やし、あなたらしい幹を、太く、強く、しなやかに育てていく中学校生活になるよう、願っています。

この6年生が築いてきた附属の文化を受け継ぐ下級生が、本日、修了式を迎えました。1年生の本多陽太郎さんが、「**思いを言葉にして行動に移し、周りの人と繋がることのできた1年間**」を振り返ってくれました。4月から「一歩前へ、何度も挑戦」しようとする気持ちが伝わる素晴らしい締めくくりの挨拶に感激しました。

保護者の皆様、この1年間、北斗の子への応援・サポートをいただき、心より感謝申し上げます。4月から変わらぬ御理解・御協力を、よろしくお願いいたします。

4年間、ありがとうございました！

これまで、スマイル附属だよりを読んでいただき、ありがとうございました。今回の人事異動で、諫早市立上山小学校に転勤となりました。子供主体で「スマイル附属」を創ろうと、取り組んでまいりました。これからも、北斗の子が、「**一歩前へ踏み出す勇気と、何度でも挑戦する意欲と行動力**」を発揮できるよう、諫早の応援団長として声援を送っていきます。

保護者の皆様から届けていただいた温かいお声掛けや励まし、育友会での御協力など、皆様と一緒に力を合わせて学校づくりができたことを力にして、新しい地に向かいます。附属小がますます好きになった4年間で、ありがとうございました。



卒業式の証書授与の様子。



立派な代表挨拶をした1年生。



離任式の様子。10人が退職・転勤です。



退職・転勤者の見送りの様子。

※裏面に続きます！

子どものちから

「あなたの学級づくりを一言で…」学年末のこの時期に、こんな質問を職員にしてみました。

～愛～ これなしでは先に進めません。
～可能性～ どの子にも可能性はあります。
～安心～ 安心の先に自信が生まれます。

100人に聞けば100通りの答えがあり、子どもとともに1年間をかけて創る成長物語。それが学級づくりです。ちなみに私の成長物語の題は～誇り～です。副題を付けるなら「仲間の成長を自分のことのように喜ぶ」。1年間の成長物語を通して学級に、仲間に誇りをもつようになります。そんな子どもを育てたいと18年間の担任時代一貫して子どもと共に創ってきました。

出逢いが大切にされる学校

成長物語には、面白いときは、一緒に面白がり、嬉しいときは、一緒に喜び、悲しいときは一緒に涙する仲間がいます。また、自分にできる精一杯の愛と努力で、子どもと共に成長する大人がいます。そんな仲間や大人を子どもはちゃんと見てくれています。愛していることが分かっています。それが本日の学校を離れる友との別れ、離任する教職員との別れの中で、涙として、「ありがとう」の言葉として表れるのです。

人とつながることが容易な時代だからこそ、学校での友との出逢い、大人との出逢いをいつまでも大切にできる北斗の学び舎を来年度も創っていきます。

教頭 橋田 晶拓

教えから学びへ²

歩み続ける

御指導いただき、ありがとうございました。

先日の金曜日、帰り際に音楽科専科の松本教諭から、このような声を掛けられました。その日、松本教諭による音楽科授業を参観する機会があり、中休みに15分ほど、参観した授業について立ち話をしたところでしたので、そのことを受けてのことでした。教師としての技、そして心構えを更に磨いていきたいという意志を伝えに来てくれたのです。

私が子どもたちの前に立つ上で、常に心に置いている言葉あります。

伸びようという気持ちを持たない人は、
子どもとは無縁の人です。
(大村はま『灯し続ける言葉』より)

松本教諭を含む本校に赴任してきた職員は1年間、「着任者」として、月1回以上の授業公開等、様々な研修に取り組んできました。上の松本教諭の姿に代表されるように、「伸びよう」という気持ちを体現する職員ばかりであることを誇らしく思っております。

保護者の皆様にも多くの御理解・御協力をいただきながら様々な改革を進めてきた1年間でしたが、教育の根幹である不易の「人づくり」は、脈々と受け継いでまいります。

主幹教諭 松尾 勇哉

身近な幸せ

気付く

先日、卒業を間近に控えた6年教室で、各担任が専門教科の最後の授業を行っていました。

その授業を終えて、ある子がこうつぶやいていました。

道徳、楽しかったな。

子どもたちが楽しく学ぶことのできるようにと力を注ぐ担任にとって、子どものこのつぶやきは、この上ない幸せだったのではないかと思います。何気ない一コマではありましたが、私の心にも強く刻まれた瞬間でした。

学校では、多くの幸せな瞬間に出会います。

卒業証書を手にして思わずこぼれる笑顔。

困った仲間にそっと寄り添う優しい背中。

卒業しても一緒に学び舎を訪れる友の存在。

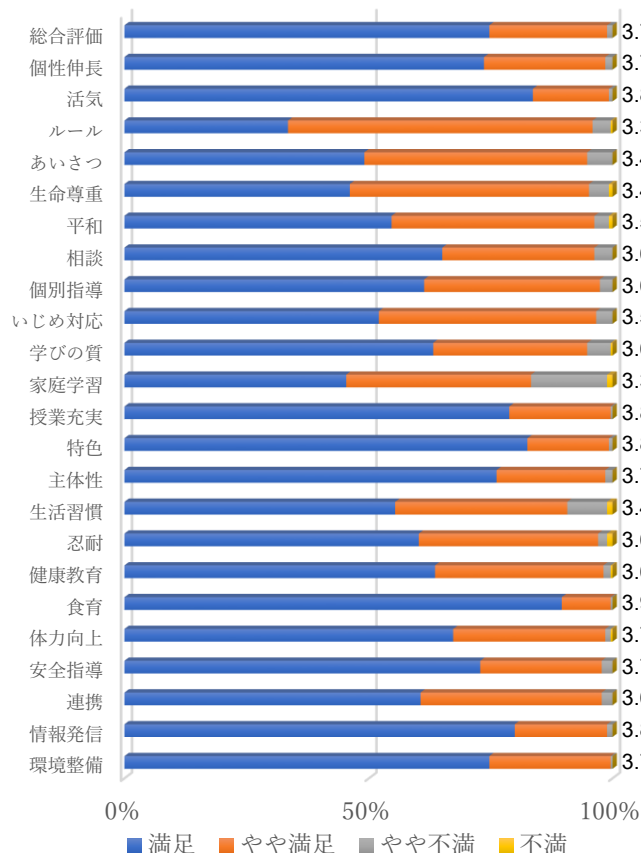
この一年間、楽しさ・幸せを創り出すことに挑戦し続けてきた子どもたちを応援する中で、楽しさや幸せが創りだせるものだということを子どもたちから教えてもらいました。そして同時に、楽しさや幸せは身近にあるということも教えてもらいました。

「創り出す」精神を受け継いだ在校生が、「気付く」アンテナも同時に育んでいくことで、附属小学校はさらにスマイルあふれる空間になることでしょう。

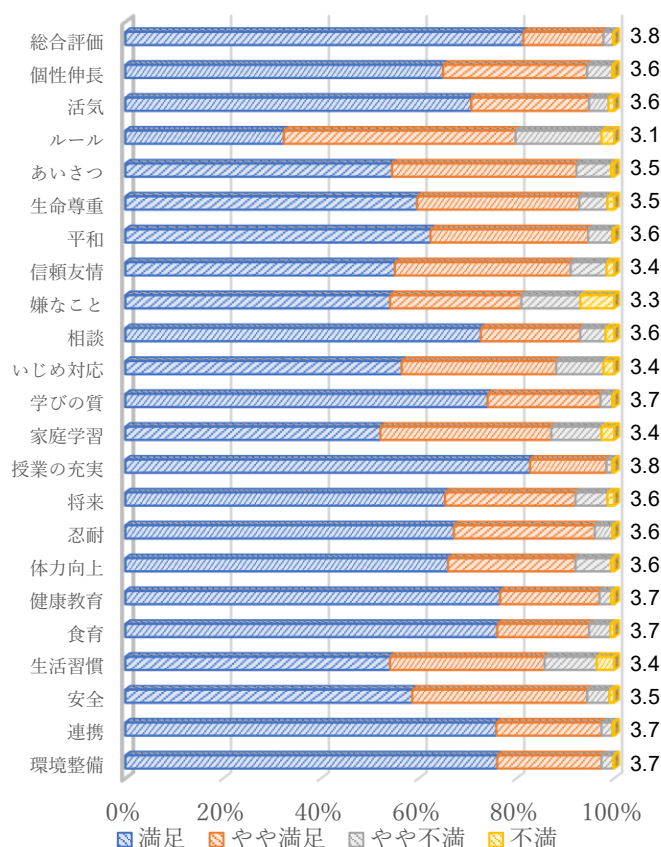
教務主任 野口 拓也

2月に保護者・児童を対象とした学校評価（アンケート調査）を実施いたしました。調査への御協力、ありがとうございました。附属小では、経年変化を基に、対策の手掛かりを得ることから、昨年度と同様に4段階評価中、3.3ポイント以上を達成レベルとしています。

学校評価（保護者結果）



学校評価（児童結果）



【保護者の学校評価について】

3.6ポイント以上の高い評価をいただいた項目は、17項目あります。「総合評価」「個性伸長」「活気」「相談」「個別指導」「学びの質」「授業充実」「特色」「主体性」「忍耐」「健康教育」「食育」「体力向上」「安全指導」「連携」「情報発信」「環境整備」です。

昨年度との比較で評価が上がった項目は、「個別指導」「いじめ対応」「家庭学習」「授業充実」「忍耐」の5項目です。

下がった項目は、「あいさつ」「生活習慣」の2項目ですが、3.3ポイントを下回るものではありません。

昨年度 3.2ポイントであった「家庭学習」は、0.1ポイント向上しましたが、更に改善に努めてまいります。向上している「個別指導」「授業充実」において引き続き改善に取り組んでいくことで、学校内外における自律した学びの更なる実践を目指してまいります。

また、「あいさつ」「生活習慣」につきましても、時と場に応じた言動やよりよい生活習慣向上への子どもの参画を充実させるとともに、学校医や生活リズムチェックカード活用等による家庭との連携を強化し、学校内外において自ら生活を豊かにしていこうとする態度の育成を目指してまいります。

【児童の学校評価について】

3.6ポイント以上の高い評価となった項目は、14項目あります。「総合評価」「個性伸長」「活気」「平和」「相談」「学びの質」「授業充実」「将来」「忍耐」「体力向上」「健康教育」「食育」「連携」「環境整備」です。

昨年度との比較で評価が上がった項目は、「総合評価」「ルール」「平和」「嫌なこと」の4項目です。

下がった項目は、「生命尊重」「いじめ対応」の2項目です。3.3ポイントを下回るものではありませんが、子どもたちの安心・安全を高めていけるよう、対応の充実を図ってまいります。

「子どもの参画」を学校運営の目標に掲げ、子どもが主体的に活動する機会を設けてきたことが、「総合評価」向上につながったと考えます。また、昨年度に引き続き、自律した学びの実現を目指し、授業改善に臨んできたことで、「学びの質」や「授業の充実」等、高いレベルを維持しています。

その一方で、「ルール」については、昨年度より0.1ポイント向上しているものの、3.1ポイントと、達成レベルに届いていない状況です。「生命尊重」「いじめ対応」と併せて子どもの人権意識を育みつつ、言葉遣いやルール・マナーの向上に向けての子ども参画の機会を充実させていきます。誰もがより安心・安全な毎日を送り、笑顔いっぱいの学校生活となるよう努めてまいります。